

レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和4年10月14日	使用開始日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	小林照之
レジメン名	オブジーボ(4週毎)+FP(食道がん)		
疾患名	食道がん		
適応分類	根治切除不能 進行・再発		
1コース日数	28 日間	総コース数	コース 催吐性リスク   day1高度、day2~6最小度
抗がん剤投与量・投与日	オブジーボ 480mg/body day1、シスプラチン80mg/m <sup>2</sup> day1、5-FU 800mg/m <sup>2</sup> /日 day1-5		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	側管1	生食500mL	1 本 / body		●																											
	点滴静注	KCL注キット(1mEq/mL)	20 mL / body	1 時間	●																											
		硫酸Mg補正液	8 mL / body		●																											
2	側管1	生食500mL	1 本 / body	1 時間	●																											
	点滴静注	フロセミド注 20mg	1 A / body		●																											
3	側管1	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																											
4	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																											
	点滴静注	オブジーボ	480 mg / body	30 分	●																											
5	側管1	生食50mL	1 本 / body	5 分	●				●																							
6	側管1	生食250mL	1 本 / body	30 分	●																											
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body		●																											
7	側管1	ハロ/セトロン注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●																											
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																											
		デキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●																											
8	側管1	生食100mL	1 本 / body		●				●																							
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body	30 分	●				●																							
9	側管1	生食100mL	1 本 / body		●				●																							
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	2 本 / body	30 分	●				●																							
10	主ルート	生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																											
	点滴静注	シスプラチン	80 mg / m <sup>2</sup>		●																											
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																																
11	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																							
	点滴静注	5-FU	400 mg / m <sup>2</sup>	12 時間	●	●	●	●	●																							
12	側管2	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body	1 時間	●	●	●																									
13	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																							
	点滴静注	5-FU	400 mg / m <sup>2</sup>	12 時間	●	●	●	●	●																							

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

シスプラチン:希釈は生食のみ。

シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。

・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。

・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。

・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。

オブジーボ:0.22または0.2μmのインラインフィルターを使用して投与する。

オブジーボ:希釈後の総液量は60mL以上を目安とする。体重30kg以上の場合、生食100mL、体重30kg未満の場合、生食50mLに希釈する。

オブジーボ:希釈後の最終濃度0.35mg/mL未満では、点滴溶液中の安定性が確認されていない。